中2 社会 地理 日本の諸地域 一問一答（20問）　版B

なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　日づけ：＿＿＿＿＿＿

問いの答えを、右の欄に書きましょう。

(1) 福岡県と佐賀県にまたがり、筑後川が流れる九州地方の平野を何というか

(2) IC（集積回路）の工場が多く集まったことから、九州地方につけられた呼び名を何というか

(3) 阿蘇山などにみられる、火山の噴火のあとにできた大きなくぼ地を何というか

(4) 広島市にあり、原子爆弾の被害を伝える建物として世界文化遺産に登録されているものを何というか

(5) 雨の少ない讃岐平野などで、農業用の水を確保するためにつくられた池を何というか

(6) 中国地方のうち、中国山地より北の日本海側の地域を何というか

(7) 生活排水などで海の水が富栄養化し、プランクトンが大量に増えて海が赤く見える現象を何というか

(8) 琵琶湖を水源とし、京都府と大阪府を流れて大阪湾に注ぐ川を何というか

(9) 京都市でつくられている、伝統的工芸品の絹織物を何というか

(10) 中部地方のうち、日本アルプスなどの山々に囲まれた内陸の地域を何というか

(11) 石川県の輪島市でつくられている、伝統的工芸品の漆器を何というか

(12) 通勤や通学で人が移動したあとの、昼間にその地域にいる人の数を何というか

(13) 関東平野の台地をおおっている、火山灰が積もってできた赤土を何というか

(14) 千葉県の東京湾岸に広がり、石油化学工業や鉄鋼業がさかんな工業地域を何というか

(15) 岩手県や宮城県の太平洋側にある、岬と湾が入り組んだリアス海岸が続く海岸を何というか

(16) 東北地方の中央を南北に走り、太平洋側と日本海側を分けている山脈を何というか

(17) 明治時代に、北海道の開拓を進めるために置かれた役所を何というか

(18) 北海道の東部にあり、すずしい気候を生かした酪農がさかんな台地を何というか

(19) 自然や文化を守りながら、それを体験したり学んだりする観光を何というか

(20) 石狩川が流れ、泥炭地の土地改良などで稲作がさかんになった北海道の平野を何というか

中2 社会 地理 日本の諸地域 一問一答（20問）　版Bの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（　）内の言い方でも正解です。

問いの答えを、右の欄に書きましょう。

(1) 福岡県と佐賀県にまたがり、筑後川が流れる九州地方の平野を何というか　筑紫平野

(2) IC（集積回路）の工場が多く集まったことから、九州地方につけられた呼び名を何というか　シリコンアイランド

(3) 阿蘇山などにみられる、火山の噴火のあとにできた大きなくぼ地を何というか　カルデラ

(4) 広島市にあり、原子爆弾の被害を伝える建物として世界文化遺産に登録されているものを何というか　原爆ドーム

(5) 雨の少ない讃岐平野などで、農業用の水を確保するためにつくられた池を何というか　ため池

(6) 中国地方のうち、中国山地より北の日本海側の地域を何というか　山陰

(7) 生活排水などで海の水が富栄養化し、プランクトンが大量に増えて海が赤く見える現象を何というか　赤潮

(8) 琵琶湖を水源とし、京都府と大阪府を流れて大阪湾に注ぐ川を何というか　淀川

(9) 京都市でつくられている、伝統的工芸品の絹織物を何というか　西陣織

(10) 中部地方のうち、日本アルプスなどの山々に囲まれた内陸の地域を何というか　中央高地

(11) 石川県の輪島市でつくられている、伝統的工芸品の漆器を何というか　輪島塗

(12) 通勤や通学で人が移動したあとの、昼間にその地域にいる人の数を何というか　昼間人口

(13) 関東平野の台地をおおっている、火山灰が積もってできた赤土を何というか　関東ローム

(14) 千葉県の東京湾岸に広がり、石油化学工業や鉄鋼業がさかんな工業地域を何というか　京葉工業地域

(15) 岩手県や宮城県の太平洋側にある、岬と湾が入り組んだリアス海岸が続く海岸を何というか　三陸海岸

(16) 東北地方の中央を南北に走り、太平洋側と日本海側を分けている山脈を何というか　奥羽山脈

(17) 明治時代に、北海道の開拓を進めるために置かれた役所を何というか　開拓使

(18) 北海道の東部にあり、すずしい気候を生かした酪農がさかんな台地を何というか　根釧台地

(19) 自然や文化を守りながら、それを体験したり学んだりする観光を何というか　エコツーリズム

(20) 石狩川が流れ、泥炭地の土地改良などで稲作がさかんになった北海道の平野を何というか　石狩平野

free-print.net ｜ 社会 地理 一問一答（日本の諸地域） 一問一答 版B ｜ 学校・塾での配布OK ｜ 答えの出どころ：百科事典（Wikipedia）の記事の冒頭・教科書